

# Dialogue Bar Takamatsu 2017

ダイアログBar高松2017  
地域の未来をつくる対話の場

大テーマ 「育む（はぐくむ）」

第一回

2017年10月21日 土 13:00-17:00

「子どもの教育を通して社会のあり方そのものを問う」

ゲスト：鈴木 大裕 さん

（教育研究者・教育NPO SOMA 副代表理事）

場 所：NPO法人アーキペラゴ・ギャラリー

（高松市塩上町1丁目2-7）

参加費：1,000円（学生500円）



ゲストプロフィール：鈴木 大裕 さん

（教育研究者・教育NPO SOMA 副代表理事）

16歳でアメリカのニューハンプシャー州の全寮制高校に留学。  
そこでの教育に衝撃を受け、教育を志す。コールゲート大、スタンフォード大  
教育大学院で教育学を学び、帰国後に通信教育で教員免許を取得。  
千葉の公立中で6年半教える。後にフルブライト奨学生としてコロンビア大  
教育大学院博士課程へ。  
土佐町での教育を通じた町おこしに取り組む傍で執筆・講演活動も行なっている。  
著書に『崩壊するアメリカの公教育：日本への警告』（岩波書店）。

第2回2017年11月予定

第3回2018年2月予定

ご予約  
お問い合わせは  
裏面へ

主催：NPO法人ソーシャルベンチャーズ四国

Web：<http://www.sv-shikoku.com/>



NPO法人ソーシャルベンチャーズ四国(SV四国)は、香川県高松市を活動拠点に、2009年に発足し今年度で9年目を迎えます。

発足当初は、社会起業家を支援する活動を目的としていましたが、2012年度からは、様々な年齢層、異業種の方々の地域ネットワークの構築を目指し、地域を良くしていくための活動につながることを目的に、「ダイアログ・バー高松」を事業の中心としてきました。

「ダイアログ・バー高松」では、毎年一つの大きな総合テーマを設定し、それをいくつかの小テーマに分け、そのテーマに関わる先進的な活動をしているゲストとの対話や、参加者の対話を通して、ネットワークの形成や新たな活動へのアイデアを生み出すきっかけを創る場を提供しています。具体的には、ダイアログの総合テーマに沿って、年3回の小テーマでの場を企画し、ある時はゲストの語りを媒介に、参加者同士が対話を深め、また最近ではゲストゆかりの活動を学ぶスタディ・ツアーも企画しています。

今までに行ったダイアログの内容は、2013年度は『大人・成熟』を総合テーマに「地産地消・食・農業」の小テーマで、2014年度は『幸福』を大テーマに「働く・学び・遊び」の小テーマで、2015年度は『お互い様』を総合テーマに「誰もが働ける社会(障害者と雇用)・NPOわのわ会でのスタディツアー・社会保障と地域づくり」の小テーマで開催し、それぞれの切り口から対話を通して探求を深めました。

そして昨年、2016年度の総合テーマは『持続可能な環境』とし、第1回は大島会館を会場に、人権と環境が尊重される社会とは何かを考え、2回目はバイオマスタウン真庭視察ツアーに参加し、持続可能な地域づくりに向けて理解を深めました。3回目は、まさに私たちの環境である“家”についてのエキスパートをゲストとしてお招きし、今後重要な課題になるであろう空き家のリアルとこれからについて語り合いました。

さて、2017年度の大テーマは『育む(はぐくむ)』です。今の地域や教育という場での育むという営みをどうとらえ、どのように日々の活動に繋げていけばいいのか、ゲストや参加者と共に対話したいと思います。

NPO法人ソーシャルベンチャーズ四国が行う、こういった機会を継続して提供していく活動が、当事者でもある私たち市民の課題意識の醸成にもつながり、より素敵な高松のまちづくりの基盤にもなると考えています。

## お申込み方法

申込フォームかFAXにて申し込み

NPO法人ソーシャルベンチャーズ四国まで  
 申込フォーム(PC・スマホ共用)  
 FAX: 087-842-5740



<http://www.facebook.com/sv.shikoku>

フリガナ	
お名前	
電話番号	
メールアドレス	
参加希望の回にチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/> 第1回 <input type="checkbox"/> 第2回 <input type="checkbox"/> 第3回	

※個人情報に関しましては、このイベント以外では使用いたしません。※満席の場合は、当日受付をお断りする場合がありますので、お早めにお申し込みください。